

氏名	石 野 博 志
学位の種類	医 学 博 士
学位授与番号	甲 第 1 1 5 号
学位授与の日付	昭和38年3月31日
学位授与の要件	医学研究科内科系神経精神医学専攻 (学位規則第5条第1項該当)
学位論文題目	Creutzfeldt-Jakob 病群の1例
論文審査委員	教授 奥村二吉 教授 妹尾左知丸 教授 山崎英正

学 位 論 文 内 容 要 旨

初老期痴呆のうち Alzheimer 病, Pick 病, Creutzfeldt-Jakob 病の何れにも分類し難い症例が欧米では多数報告せられている。本論文では C-J 病およびその周辺の疾患について光を当てた。論文の前半では本症例の臨床像を報告し, C-J 病の定型および諸家により非定型と称せられている症例の臨床像についての文献的考察を行い, 更に本症例の臨床像が定型例に一定していることを述べた。後半においては, 従来報告された定型的 C-J 病の病理組織所見をまとめ, 本症例では定型的 C-J 病に比し, 病変の局在, 運動神経細胞の原発刺激は同一であるが, 本例では海馬回, 島を除きマクログリアの肥大を欠ぐこと, 神経細胞脂肪蜂窩状変性を認めぬこと, 更に視床の変性が本例では側核に限られていたことが定型的 C-J 病と異なっていた。更に文献中の非定型症例中より本症例に類似した4例を選びこれと比較し本症例を非定型 C-J 病に属するものと診定した。

備 考

- 1) 日本精神神経学雑誌 第65巻 第6号(1963)
- 2) 第4回神経病理懇話会(1963)

論文審査の結果の要旨

石野博志提出の学位論文「Creutzfeldt-Jakob 病群の1例」につき審査した結果の要旨は次の通りである。

本病に関する報告は欧米に於ては活潑であるが従来我国に於てはその存在するや否やすらも不明であったが、昭和36年王丸が初めて2例を報告し、同年市川、加藤らが1例を報告した。石野の報告は我国に於ける第4例目の症例の剖検による詳細なる研究である。

著者は従来報告された内外の文献41篇から C-J 病の臨床症候を明らかにして本例と比較して本例が臨床的には定型的 C-J 病に相当することを確認した。次に本例の脳の組織病理学的研究結果と上記41篇の論文に報告されている定型例、及び非定型例の組織病理所見とを比較検討した、本例に於ては定型例の所見に比し、皮質深層のマクログリヤ増殖がない、神経細胞の脂肪蜂窩状変性がない、視床の変性部位も内側核でなく、他の部位が侵されている、等の諸点が定型例と異なっている。此等の所見より本症例は C-J 病群に属するが非定型であると結論した。

以上の通り本論文は本邦に於ける第4例目の症例を詳細に研究したもので学術上甚だ有益であり、著者は医学博士の学位を授与せられるべき学力を十分に有するものと認める。